

記入例

(様式第1号)

平成29年7月1日

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
会長 関 正夫 様

申請者 団体名 千波子育てサロン
所在地(住所) 水戸市千波町1918
代表者氏名 水戸 花子 印
連絡先電話 (029) 241-1133

はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金交付申請書

標記の助成金について下記のとおり交付されるよう、関係書類を添えて申請します。

記

1 助成金交付申請額 50,000 円

助成額は50,000円以内で
千円単位となります。
千円未満の端数が生じた場合、
端数は切り捨てします。

2 添付資料

- ・事業実施計画書(別紙1-1)
- ・収支予算書(別紙1-2)

3 振込先

必ず通帳で確認しながら、
正確に記入してください

金融機関名 (ゆうちょ銀行の場 合は支店名ではなく 店名を記入)	銀行 000 信用金庫 ΔΔΔ 支店 農協 その他()
預金種別	普通 ・ 当座
口座番号	No. 1234567
(フリガナ) 口座名義	センバコソダテサロン ダイヒョウ ミトハナコ 千波子育てサロン 代表 水戸花子

「口座名義」は
省略しないでください。

(別紙1-1)

事業実施計画書

■サロンの概要

サロン名	千波子育てサロン「ひよっこ」		
サロン運営団体名称	千波地区の福祉を考える会		
設立年月日	平成 23 年 4 月 5 日		
代表者	住所	〒310-0851 水戸市千波町1918番地	
	氏名	水戸 花子	電話 029-241-1133
事務担当者 (代表者と同じ場合 記入不要)	住所	〒 -	
	氏名		電話
書類の送付・電話連絡先 (どちらかに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 代表者 ・ 事務担当者		
開催場所	茨城県総合福祉会館 小研修室		
開催日時	月・週・年(2)回 (第2土・第4土) 曜日 午前・午後 1時00分～午前・午後 3時30分～		
利用者負担金 (1人1回あたり)	200 円		
参加対象者 (あてはまるもの全て□にチェック)	□()歳以上高齢者 □()歳以上高齢者世帯 □()歳以上ひとり暮らし・昼間独居 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て中の親 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども(7)歳～(15)歳 <input checked="" type="checkbox"/> その他(希望する者)		
参加者予定数 (1回あたり平均)	参加者 16 名 ・ 協力者 4 名 計 20 名		

ステップアップ助成金申請用

■申請する事業（活動）について

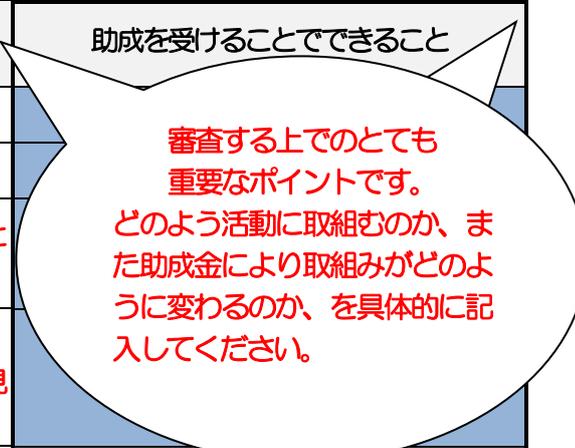
申請する事業の助成金区分	ステップアップ助成金		申請する事業の番号	(8)
			<small>(募集要項4.対象となる事業参照)</small>	
申請する事業（活動）の名称	気になる学び舎（子育てサロン及び生活困窮世帯の学習支援）			
申請する事業（活動）の種別	<p>審査する上で、とても重要なポイントです。助成金を受けることで、新たに取組む内容や新たに変わる点など、<u>これまでの取組みとどう変わるのか、を具体的に記入してください。</u></p>			助成を受けることで新たに変わる点
				更に毎月第4土曜日開催する
申請する事業（活動）の種別	（性別）	研修室	変更なし	
	（年齢）	交換の場と	生活困窮世帯の子に学びの場を提供することで生きる力を養うことを目的とする	
	（体系的）	を実施	・対象：生活困窮世帯の子（小4～中3） ・内容：ボランティアティーチャーによる学習指導、レクリエーションなど	
	（生活課題への対応）	見		
	（社会資源の活用）	場（情報・意見		
	（継続性）	の場）の提供		
	（先進性）	子育て中の親を対象に意見交換の場となるサロンを実施することで、育児ストレスの軽減を図る。	生活困窮世帯の子に学びの場を提供することで子ども自身に生きる力をつけさせ、将来的な生活困窮の連鎖の解消を図る。	
	（財源の確保）	地元の公共施設を会場に地区婦人会とも連携することで、普段から身近に相談できる関係を築く。	地区でボランティアティーチャーを募る。また、子どもが自ら通える公共施設を活用して開催する。	
（独自性）	運営側の独りよがりにならないよう、参加者との意見交換を大切にしている。	教科学習のみならず、レクリエーション的な要素も取り入れることで、継続的な参加を促すよう工夫する。		
（その他）	参加する親にも運営側の一部の役割を担うよう、協力を依頼しながら取り組んでいる。	市社協を通じてフードバンクから食材支援を受け、おやつに係る経費削減を図り、生活困窮世帯でも通わせられる場づくり。		
	参加者負担金と市社協からの助成金で運営している。	生活困窮世帯を参加対象とすることから参加者負担を抑えつつ、フードバンクからの食材等の支援により対応を図る。		
	就学前の子どもとその親を対象とした子育てサロンはいくつかあるが、小・中学生とその親を対象としたサロンは近隣に殆どない。	従来の子育てサロンに、テーマ「生活困窮世帯の子どもへの学習支援」を設定した活動を加えること。 幅広い世代の関係者による交流、など。		
	東日本大震災により地区内に避難してきている母子・父子も参加対象としている。	東日本大震災により地区内に避難してきている生活困窮世帯の子ども学習支援の対象とする。		

※団体の活動概要や、実施しようとする事業の資料・写真があれば添付してください。

スタート助成金申請用

■申請する事業（活動）について

申請する事業の助成金区分	スタート助成金	申請する事業の番号	(5)
		(募集要項4.対象となる事業参照)	
申請する事業（活動）の名称	小・中学生 子育てサロン		
本年度立ち上げる（た）サロンについて		助成を受けることでできること	
申請する事業（活動）の種別	実施予定日	毎月第2土曜日	
	実施場所	茨城県総合福祉会館 研修室	
	目的 <small>（どのような趣旨で行うのか）</small>	子育て中の親の情報交換の場となることを目的にサロンを実施	
	内容 <small>（誰を対象に、何をを行うのか具体的に）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象：子育て中の親 ・内容：しゃべり場（情報・意見交換の場）の提供 	
申請する事業の種別 ※助成対象となる事業は記入してください	生活課題への対応 <small>（地域やどのような生活課題に対応する事業か）</small>	子育て中の親を対象に情報交換の場となるサロンを実施することで、小・中学生を持つ親の悩みの解消などを図る。	
	社会資源の活用 <small>（地域の人材や建物等を活用しているか）</small>	地域の公共施設を会場に、地域の青少年指導員などと連携することで、普段から身近に相談できる関係を築く。	
	継続性 <small>（継続させるための工夫は何か）</small>	運営側の独りよがりにならないよう、参加者との意見交換を大切にしている。	
	先進性 <small>（他のサロンにない特徴は何か）</small>	参加する親にも運営側の一部の役割を担うよう協力を依頼しながら取り組んでいる。	
	財源の確保 <small>（財源の確保をどのように努めているか）</small>	参加者負担金と市社協からの助成金で運営している。	
	独自性 <small>（他に無い特徴ある新たな事業であるか）</small>	就学前の子どもとその親を対象とした子育てサロンはいくつかあるが、小・中学生とその親を対象としたサロンは近隣に殆どない。	
	その他 <small>（東日本大震災 関東・東北豪雨の被災者支援又は生活困窮者への支援の取り組みなど）</small>	東日本大震災により地区内に避難してきている母子・父子も参加対象としている。	



※団体の活動概要や、実施しようとする事業の資料・写真があれば添付してください。

(別紙1-2)

【団体名：千波子育てサロン「ひよっこ」】

収支予算書

1 収入内訳書

(単位：円)

収入費目とその内容		金額
はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金		50,000
参加者負担金	(@200×16人×24回)	76,800
補助金	[補助元：]	
助成金	[助成元：〇〇市社会福祉協会]	20,000
その他 (寄付金)	個人寄付	5,000
()		
()		
()		
収入合計		151,800

2 支出内訳書

支出費目とその内容		金額
報償費	レクレーション指導料 @2,000×4回	8,000
旅費	フードバンクとの往復 @500×12回	6,000
消耗品費	事務用消耗品 @1,000×12か月	12,000
印刷製本費	チラシ印刷代 @20×2,000枚	40,000
通信運搬費	切手代 @140×10通×12か月	16,800
賃借料	会場費 @2,000×24回	48,000
備品費	プロジェクター購入代(1台)	21,000
その他 ()		
()		
()		
()		
支出合計		151,800